

令和6年度学校目標【定時制】

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①基礎学力の定着、専門教育の充実、共通教科と専門教科のバランスに配慮した教育課程編成や組織的な授業改善に取り組む。 ②専門教育充実のため、三修制希望生徒への支援、資格取得の推進、企業や職業技術校等との連携体制の確立など、夜間定時制高校として魅力をより一層充実する。 ③学校行事や生徒会活動を充実させ、生徒の主体的活動を推進する。	①基礎学力の定着と工業の専門性向上に対応する教育課程を編成する。生徒が卒業後のキャリアプランを見据えて意欲的に学習に取り組むことができるよう支援体制の充実を図る。 ②国家資格取得に向けた支援体制の充実、企業や職業技術校等との連携を図り、夜間定時制の工業高校として魅力的な教育活動を展開する。 ③学校行事や生徒会行事の充実を図る。	①多様な学習ニーズに応じた指導の充実に向けて、組織的な授業改善に取り組む。少人数のメリットを生かし、一人ひとりの生徒に寄り添った授業を展開する。3修制希望生徒に対する学習支援を充実する。 ②各種検定を活用したスモールステップで丁寧な資格指導・支援体制を充実させる。企業や職業技術校等と連携した工業教育を充実させる。 ③学校行事や生徒会行事の事前指導を充実させるなど、各行事のねらいを明確にすることにより生徒が主体的に参画できるよう指導する。	①校内研修や研究授業等に全職員で取り組むことができたか。生徒による授業評価で、生徒自身の学びに関する項目に改善が見られたか。3修制希望生徒が卒業に向けて学習を継続することができたか。 ②国家資格の取得者が前年度より増加したか。企業や職業技術校等と連携することができたか。 ③学校行事や生徒会行事に生徒が主体的に参画していたか。
2	生徒指導・支援	①個に応じた支援のための組織的な教育相談体制を確立するとともに、基本的な生活習慣の確立に向けたきめ細かい生活指導に取り組む。 ②部活動の活性化や各種コンテスト、競技会への参加を通して、生徒の達成感、連帯感、責任感を涵養する。	①生徒一人一人に対応できる相談体制を確立するとともに、生徒の情報を共有し、担任、学年外でも生徒の対応をしやすくする。また、基本的な生活習慣の確立に向けたきめ細かい生活指導に取り組む。 ②「神奈川県立学校に係る部活動の方針」により、部活動の方針を策定し、教育課程と連携した部活動の活性化を図る。	①登校指導時の声掛けにより生徒の対応から気持ちの浮き沈み等を見取る。生徒から話しやすくなるように声掛けをして個々の相談を受けやすくする。 ②新たに策定する方針に従い年間指導計画を作成することで計画的な活動を行い、部活動の活性化に努める。	①登校時における声掛けを行う。複数の職員で個々の生徒を観察して生徒の変化を読み取るように努める。また、変化が見える生徒については担任、学年の職員と情報交換する。 ②年間を通して部活動に参加した生徒が増えたか。
3	進路指導・支援	①生徒一人ひとりの進路実現に向けた指導、支援の充実を図る。 ②これからの時代を生き抜いて行くうえで必要な資質や能力を育成するためのキャリア教育を推進する。	①個々の生徒が卒業後の進路に対し、具体的なイメージが持てるよう指導する。 ②キャリア教育を推進するためのプログラムの充実を図る。	①LHRや面接等を通して、早い段階から生徒が卒業後の進路について、具体的に考えることができるよう指導する。 ②キャリア教育のねらいを明確にし、講演会等を実施することで、生徒が主体性を持って将来を考えることができるよう努める。	①個々の生徒の卒業後の進路希望を把握し、進路実現に向けた指導をすることができたか。 ②キャリア教育のねらいに沿った企画を実施することができたか。
4	地域等との協働	①地域産業や地域社会との連携、協働による教育活動の充実に取り組む。 ②地域や中学生に工業高校の魅力・特色を発信するため広報活動の充実を図る。	①地域産業・地域社会、近隣の小中学校等との連携・協働に取り組む。 ②学校説明会や見学会で、本校定時制の魅力や特色を丁寧に説明する。また、地域や中学校にアピールするため、HPを活用し、魅力ある取り組みや活動等の広報活動を充実させる。	①文化祭に地域の方を招くなど地域と連携・協働した行事を実施するとともに、生徒の自己肯定感を育むため、地域の小中学校で行われる行事等に参加する取組の充実を図る。 ②学校説明会や見学会を通じて本校の魅力や特色を、中学校へ丁寧に分かりやすく伝えられるよう、企画内容を工夫し、HPを活用して、学校の特色がより分かる日頃の授業や実習など普段の工業高校らしい様子も随時発信していく。	①地域の方や近隣の小中学校等との連携・協働した取組を充実させることができたか。 ②本校の特色である定時制や資格取得について、分かりやすく説明できたか。HPをこまめに更新し、その内容を充実することができたか。また、定時制の広報活動の充実を図ることができたか。
5	学校管理 学校運営	①生徒が安心して学校生活を送れるよう学習環境の整備、防災体制の整備に取り組む。 ②研修による意識啓発、業務の共有、協働、効率化をめざし、働き方改革の推進と不祥事の未然に防止を図る。	①感染症の動向を見極めつつ、学習環境の整備とICTの活用に向けた校内体制の整備の充実を図る。また、生徒の防災意識の向上と校内の防災体制の強化を図る。 ②各グループ・班の業務内容や分担を再点検し、業務の相互補助や協働を進め、効率化と進捗管理の徹底を図る。また、不祥事に対する当事者意識を醸成し、事故の未然防止につなげる。	①感染防止への意識を向上させる。ICTの活用に向けて生徒への支援、教員の研修を充実させる。また、防災訓練や防災教室を実施し、周囲の協力、状況に応じた生徒の防災行動を身に付けさせる。 ②各業務の共有化により、主・副担当の相互補助を進め、必要に応じて全体での協働作業による効率化を図るとともにGLや班長は、業務の進捗管理に気を配る。また、不祥事ゼロプログラムをもとに不祥事防止研修会を設定する。	①感染防止対策を徹底することができたか。生徒も教員もICT活用に取り組むことができたか。防災訓練や防災講演会の実施により、生徒の防災意識の向上を図ることができたか。また、地域・保護者との協力体制を整備することができたか。 ②職員相互の連携が取れて、業務が一人に集中することなく、遅滞なく業務が遂行できたか。また、不祥事が起こることがなかったか。